

エリア名	施策名	整備に関する事項 (短期：～平成29年度・中期：～平成34年度・長期：～平成44年度・継続：継続的に実施するソフト施策)	No	具体的な施策（短期）	○：達成 △：一部達成 ×：未達成	取組状況（△の箇所については、下段に今後の取組を記載）
長崎駅周辺エリア	都市の魅力の強化	<p>・防災拠点施設としての機能確保等のため、長崎魚市跡地において県庁舎及び警察本部庁舎の整備を進めるとともに、敷地に隣接して耐震岸壁に面した防災緑地を災害時の物資輸送の拠点等として整備を推進する。一方、新県庁舎の敷地は、隣接する防災緑地と一体となって、常に県民が自由に利用できる公園的な空間として整備を進める。また、行政棟のエントランスホールや展望施設についても、閉庁日も含めて県民が利用できるようにし、離島を含めた県内各地域の観光・物産・行政等の情報発信等を行う「県民情報センター（仮称）」を設置するなど、憩いや交流の場となるよう整備を推進する。また、長崎駅の新駅舎とまちなかをつなぐ動線を確保するなど、周辺での各事業と連携して新たな魅力ある都市空間の創出を目指す。</p> <p>○新県庁舎の整備・・・短期 ○防災緑地の整備・・・短期</p>	1	新県庁舎の整備、防災緑地の整備	○	・平成29年度完了。
		<p>・長崎駅周辺土地区画整理事業の施行区域においては、未利用・再生可能エネルギーの利活用、公共交通機関の利便性の向上、都市緑化や潤いのある都市空間の確保など低炭素型のまちづくりに先導的に取り組むための計画を策定し、それらの施設整備を促進する。</p> <p>・長崎魚市跡地での新県庁舎の整備においても、省資源・省エネルギーなど環境に配慮し、他県に先駆けて低炭素社会の実現を目指すための最先端の取り組みを行う。</p> <p>○地域単位でのエネルギー効率を高めるための施設の整備促進・・・短期 ○新時代環境共生型新県庁舎の整備・・・継続</p>	2	新時代環境共生型新県庁舎の整備	○	・平成29年度完了。
		<p>・長崎港を取り囲むすり鉢状の地形により、多方向から観賞できる夜間景観は世界新三大夜景の一つであることから、まちのシンボルとなる道路や観光上重要な道路、歴史的な建物や地域のランドマークとなる施設などについては、照明による夜ならではの賑わいを演出するとともに、展望場所の整備など行うことにより、港と都市の夜景が楽しめる景観づくりを進める。特に稲佐山からの夜景を意識し、水際のライトアップの向上に努めるなど、今後、新たに整備される施設についても、夜景が楽しめる整備に努める。</p> <p>○水際の灯りの整備（魚市跡地）・・・短期 ○水際の灯りの整備（浦上川右岸部）・・・長期 ○市街地の灯りの整備誘導・・・長期</p>	3	水際の灯りの整備（魚市跡地）	○	・平成29年度完了。
回遊性の充実	<p>・主要な歩行者動線を明確にするなど、わかりやすい歩行空間のネットワークを形成することとし、新たに長崎駅周辺と浦上川右岸とを連絡する歩行者動線等の強化により回遊性向上を図るため、水辺のプロムナードの整備等を行う。</p> <p>・整備にあたっては、長崎魚市跡地の整備を先行し松が枝から稲佐橋間と浦上川右岸下流部の水辺のプロムナードを促進するとともに、浦上川右岸上流部の旭大橋と稲佐橋間については、周辺地域の開発動向などを考慮しながら、歩行者動線を整備し回遊性の向上を図る。</p> <p>○水辺のプロムナードの整備（魚市跡地）・・・短期 ○水辺のプロムナードの整備（浦上川右岸下流部）・・・長期 ○旭大橋と稲佐橋間の歩行者動線の整備（浦上川右岸上流部）・・・長期</p>	4	水辺のプロムナードの整備（魚市跡地）	○	・平成29年度完了。	
	<p>・路面電車やバスなどの公共交通機関のシステムの充実・強化の検討などを進め、公共交通のサービス向上を図る。特に、鉄道と市内公共交通機関との結節性を確保するため、駅前交通広場の整備に取り組む。</p> <p>・既存バスターミナルの老朽化、狭隘化、交通の輻輳の改善を図るため、バス事業者と調整を図りながら、施設の更新と機能強化の検討を進める。</p> <p>・路面電車の電停（長崎駅前・宝町）のバリアフリー化について、国道202号の交通量の推移等を踏まえ、具体的な方法を検討する。</p> <p>・公共交通機関を利用する市民や観光客等の移動の負担を軽減することや、乗り換えの利便性の向上を図るため、長崎駅前電停と長崎駅との結節性の確保に向けた取り組みを進める。</p> <p>○駅前交通広場の整備（西口・東口）・・・中期 ○バスターミナルの更新と機能強化・・・長期 ○電停のバリアフリー化（長崎駅前）・・・短期 ○電停のバリアフリー化（宝町）・・・中期 ○長崎駅前電停と長崎駅との結節性の確保・・・中期</p>	5	電停のバリアフリー化（長崎駅前）	×	<p>・電停のバリアフリー化を検討するにあたり、国道202号の横断方法について、関係者（交通管理者、道路管理者）と協議・調整した結果、平面横断は困難と判断した。</p> <p>・駅東側地区の整備に合わせて実施予定の国道202号立体横断施設（歩道橋）の改築に合わせてバリアフリー化を図れるよう、関係者と協議・調整を行い方針を決定する。</p>	

エリア名	施策名	整備に関する事項 (短期：～平成29年度・中期：～平成34年度・長期：～平成44年度・継続：継続的に実施するソフト施策)	No	具体的な施策（短期）	○：達成 △：一部達成 ×：未達成	取組状況（△の箇所については、下段に今後の取組を記載）	
中央エリア	都市の魅力の強化	出島和蘭商館跡復元の推進	6	出島表門橋の架橋	○	・平成29年11月に完成し一般供用を開始した。また、同月24日に式典を開催した。	
		魅力ある夜間景観の創造	7	市街地の灯りの維持・改善検討（LEDへの転換、現在の灯りの維持）	○	・平成25～28年度にかけて、すべての防犯灯（蛍光灯）をLEDへ転換した。	
	周辺地域との交通ネットワークの充実・強化	・賑わいの拠点である中心商業地と海の玄関口である松が枝周辺、陸の玄関口である長崎駅周辺との連携強化及び、交通渋滞の改善、市役所や県庁など公共施設等の再配置に伴う施設利用者の利便性確保のため、駐車場と公共交通機関との連携や運行ルートの見直しなどの検討を進め、有効な制度等を活用しながら公共交通ネットワークの充実と利便性の向上を図る。また、現在長崎県交通局により「ながさきお買いものバス」を長崎駅、元船町、中央橋を結ぶ路線で運行しているが、長崎駅周辺部での開発、松が枝周辺部での開発に合わせ、駅、港、まちなかを周回する交通手段の需要が高まる可能性があることから、これらの拠点を結ぶ周回バスの可能性について検討を進める。 ○観光案内板や誘導サインの整備・充実・・・短期 ○観光バス乗降所の整備検討・・・長期 ○電停（諏訪神社前）のバリアフリー化の推進・・・短期 ○拠点周回バスの運行・・・中期 ○公共交通機関の運行ルート見直し検討・・・中期 ○路面電車（平和公園方面～グラバー園方面）の直通運行の検討・・・長期 ○タクシーベいの整備・活用・・・長期 ○公共交通における誘導案内の充実・・・中期	8	観光案内板や誘導サインの整備・充実	○	・「まちなか誘導案内板整備計画」に基づき、誘導サイン8基を設置した。また、さるく説明板：169基、石碑説明板：63基設置。説明板等の修繕を実施した。	
			9	電停（諏訪神社前）のバリアフリー化の推進	△	・平成29年度までは、関係者で整備の方向性等を定めるために検討及び調整を行っている。 ・平成25年度から新大工町・馬町交差点改良事業として、国土交通省（長崎河川国道事務所）が事業に取り組んでいる。 ・諏訪神社前電停バリアフリー化については、整備の方向性について、関係機関で引き続き検討を行う。	
			10	岩原川沿いの道路環境整備	△	・地元等と協議をしながら整備内容を検討することで、良好な歩行空間の整備に努めている。 ・今後も事業を継続して実施し平成34年度に完了見込み。	
	安全・安心な歩行者動線の充実・強化	・まちなかや松が枝周辺、長崎駅周辺との連携強化やエリア内を回遊できる環境づくりを進めるため、人を優先した安全・安心で楽しく歩ける歩行者軸の確保を図るなど、歩行者動線の充実・強化を進めるとともに、歩きやすいルート、傾斜が急なルートなどを明記したサインの充実を図る。また、まちなかの回遊性向上を図るため、観光客や住民に休憩や語らいの場所を提供できる空間の確保に努めるほか、公衆トイレの快適性向上につながるための取り組みを推進する。 ○岩原川沿いの道路環境整備・・・短期 ○市道出大工町江戸町線の道路環境整備・・・中期 ○回遊路の環境整備・・・長期 ○長崎駅周辺や松が枝周辺と中央エリアをつなぐ動線強化・・・中期 ○観光案内板や誘導サインの整備・充実【再掲】・・・短期 ○公衆トイレの環境改善検討・・・短期 ○電線類地中化事業の推進【再掲】・・・長期 ○トイレなどのおもてなし施設を維持管理するオーナー制導入の検討・・・中期 ○バリアフリー基本構想に基づくバリアフリー化の推進・・・中期 ○花のあるまちづくり事業の推進【再掲】・・・継続 ○休憩場所等の確保・・・長期	11	観光案内板や誘導サインの整備・充実	○	・「まちなか誘導案内板整備計画」に基づき、誘導サイン8基を設置した。	
			12	公衆トイレの環境改善検討	△	・公衆トイレの多目的化及びバリアフリー化等に向けた検討を行っている。 ・引き続き、検討を進める。	
			13	トイレなどおもてなし施設を維持管理するオーナー制導入の検討	○	・開放を条件とした新築・改修を行う民間のトイレに対し、補助金の交付を行っており、平成28年度までに2件の実績がある。また、平成29年度には市民や観光客にトイレを開放した店舗2件を「おもてなしトイレ」としてまちぶらプロジェクトに認定した。	
			14	案内表示の多言語化の推進	○	・【No. 11と同じ】	
	国際ゲートウェイ機能の再構築	外国人観光客に対するおもてなしの向上	・東アジアクルーズに優位な位置にある地理的条件や、歴史を活かした東アジアへの玄関口（ゲートウェイ）としての機能を高めるため、外国人観光客に対する「おもてなし」の向上を図る。そのため、定期的なおもてなしセミナーの開催、留学生や国際交流員による外国語や文化講座の開催を促進するとともに、観光地や商店街での無線LAN環境によるインターネットへのアクセス手段の強化などを進める。 ○案内表示の多言語化の推進・・・短期 ○おもてなしセミナーや外国語講座等の定期開催・・・継続 ○商店街での買物利便性の向上・・・継続 ○留学生等と連携した案内サービスの推進・・・継続 ○インターネット環境の充実促進の検討・・・継続 ○外貨交換窓口の設置・・・継続	14	案内表示の多言語化の推進	○	・【No. 11と同じ】

エリア名	施策名	整備に関する事項 (短期：～平成29年度・中期：～平成34年度・長期：～平成44年度・継続：継続的に実施するソフト施策)	No	具体的な施策（短期）	○：達成 △：一部達成 ×：未達成	取組状況（△の箇所については、下段に今後の取組を記載）	
まちなかエリア	唐人屋敷の顕在化	・唐人屋敷跡は、日本と中国の国際交流を示す貴重な歴史的資産であることから、かつての唐人屋敷のおもかげを現在に伝え、中国文化の感じられる空間を創出するため、唐人屋敷跡を示すモニュメントや遺構説明板、象徴門の設置などに取り組み、歴史を活かした観光拠点としての整備を進める。また、都市計画道路の整備と合わせた建物の建替えの機会を捉え、まちなみ整備助成の制度を活用しながら統一感のあるまちなみ景観づくりを進める。 ○唐人屋敷顕在化事業の推進・・・短期 ・唐人屋敷象徴門の整備（誘導門、大門） ・蔵の資料館、まちづくりセンターの整備 ・土神堂前広場の整備 ○まちなみ整備の推進【再掲】・・・短期	15	唐人屋敷顕在化事業の推進	△	・唐人屋敷顕在化事業（唐人屋敷象徴門（誘導門・大門）の建設や蔵の資料館の開設等）を実施した。 ・今後も唐人屋敷顕在化事業を継続して実施し、残る土神堂前の広場の整備については平成32年度に完了する見込み。	
			16	まちなみ整備の推進	△	・まちなみ助成制度により、平成15年度から22棟の民間が実施する中国風等の建物整備に対して支援を行った。 ・都市計画道路の事業終了まで、継続して実施する予定。	
	都市の魅力の強化	魅力ある夜間景観の創造	・まちのシンボルとなる道路や観光上重要な道路、歴史的な建物や地域のランドマークとなる施設などについては、照明による夜ならではの賑わいを演出し、「見られる」側として市街地内の灯りを整備していくとともに、夜景が見渡せる視点場の確保に努める。 ○市街地の灯りの維持・改善検討（LEDへの転換、現在の灯りの維持）・・・短期 ○市街地の灯りの維持・改善検討（灯りの演出）・・・継続 ○観光施設やランドマークとなる施設のライトアップの推進・・・継続	17	市街地の灯りの維持・改善検討（LEDへの転換、現在の灯りの維持）	○	・【No.7と同じ】
				18	拠点広場等の整備検討	○	・中島川寺町エリア（諏訪小学校前）に実験的に広場を開設し、様々な主体がイベント等の拠点として活用する取組が進められている。
	回遊性の充実	周辺地域との交通ネットワークの充実・強化	・賑わいの拠点である中心商業地と海の玄関口である松が枝周辺、陸の玄関口である長崎駅周辺との連携強化及び、市役所や県庁など公共施設等の再配置に伴う施設利用者の利便性確保のため、駐車場と公共交通機関との連携や運行ルートの見直しなどの検討を進め、有効な制度等を活用しながら交通ネットワークの充実と利便性の向上を図る。また、現在長崎県交通局により「ながさきお買い物バス」を長崎駅、元船町、中央橋を結ぶ路線で運行しているが、長崎駅周辺部での開発、松が枝周辺部での開発完了に合わせ、駅、港、まちなかエリアを周回する交通手段の需要が高まる可能性があることから、これらの拠点を結ぶ周回バスの可能性について検討を進める。 ○観光案内板や誘導サインの整備・充実・・・短期 ○観光バス乗降所の整備検討・・・長期 ○電停（新大工町、諏訪神社前）バリアフリー化の推進・・・短期 ○拠点周回バスの運行・・・中期 ○公共交通機関の運行ルート見直し検討・・・中期 ○公共交通における誘導案内の充実・・・中期	19	観光案内板や誘導サインの整備・充実	○	・「まちなか誘導案内板整備計画」に基づき、誘導サイン2基と案内サイン1基を設置した。
				20	電停（新大工町、諏訪神社前）のバリアフリー化の推進	△	・平成25年度から新大工町・馬町交差点改良事業として、国土交通省（長崎河川国道事務所）が事業に取り組んでいる。 ・平成29年度までに、新大工町電停のバリアフリー化及び諏訪神社前電停のバリアフリー化を実施するため、関係者で検討及び調整を行っている。 （新大工町電停バリアフリー化については、平成30年度に横断歩道設置完了） ・諏訪神社前電停バリアフリー化については、整備の方向性について、関係機関で引き続き検討を行う。
	安全・安心な歩行者動線の充実・強化	安全・安心な歩行者動線の充実・強化	・松が枝周辺、長崎駅周辺との連携強化やエリア内を歩いて回遊できる環境づくりを進めるため、人を優先した安全・安心な楽しい歩行者軸の確保を図るなど、歩行者動線の充実・強化を進めるとともに、歩きやすいルート、傾斜が急なルートなどを明記したサインの充実を図る。また、回遊性向上を図るため、観光客や住民に休憩や語らいの場所を提供できる空間の確保に努めるほか、公衆トイレの快適性向上につながるための取り組みを進める。 ○銅座川プロムナードの整備・・・長期 ○都市計画道路（中通り線、新地町福田町線、片淵線、本石灰町松が枝町線）の整備・・・長期 ○回遊路の環境整備・・・長期 ○長崎駅周辺や松が枝周辺とまちなかエリアをつなぐ動線強化・・・中期 ○観光案内板や誘導サインの整備・充実【再掲】・・・短期 ○公衆トイレの環境改善・・・短期 ○電線類地中化事業の推進【再掲】・・・長期 ○通過交通の排除・・・短期 ○トイレなどのおもてなし施設を維持管理するオーナー制導入の検討・・・短期 ○バリアフリー基本構想に基づくバリアフリー化の推進・・・中期 ○花のあるまちづくり事業の推進【再掲】・・・継続 ○休憩場所等の確保・・・長期	21	観光案内板や誘導サインの整備・充実	○	・「まちなか誘導案内板整備計画」に基づき、誘導サイン2基と案内サイン1基を設置した。また、さるく説明板：169基、石碑説明板：63基設置。説明板等の修繕を実施した。
				22	公衆トイレの環境改善検討	△	・平成25年度から取り組んでおり、丸山公園については平成27年度に、湊公園については平成28年度に改修済み。 ・馬町便所は、隣接する道路の拡幅整備の検討中であり、調整が必要となるため、具体的な検討ができていない。 ・引き続き、道路計画と調整を行いながら、馬町便所の整備に向けて取り組む。
				23	通過交通の排除	△	・平成27年度に中島川寺町エリアにおいて袋橋の車両通行止めを実施。 ・速度抑制の対策など地域や県警と協議しながら進めていく。
				24	トイレなどおもてなし施設を維持管理する オーナー制導入の検討	○	・【No.13と同じ】
国際ゲートウェイ機能の再構築	外国人観光客に対するおもてなしの向上	・東アジアクルーズに優位な位置にある地理的条件や、歴史を活かした東アジアへの玄関口（ゲートウェイ）としての機能を高めるため、外国人観光客に対する「おもてなし」の向上を図る。そのため、定期的なおもてなしセミナーの開催、留学生や国際交流員による外国語や文化講座の開催を促進するとともに、観光地や商店街での無線LAN 環境によるインターネットへのアクセス手段の強化などを進める。 ○案内表示の多言語化の推進・・・短期 ○おもてなしセミナーや外国語講座等の定期開催・・・継続 ○商店街での買物利便性の向上・・・継続 ○留学生等と連携した案内サービスの推進・・・継続 ○インターネット環境の充実促進の検討・・・継続 ○外貨交換窓口の設置・・・継続	25	案内表示の多言語化の推進	○	・「まちなか誘導案内板整備計画」に基づき、誘導サイン2基と案内サイン1基を設置した。また、さるく説明板：169基、石碑説明板：63基について、日、英、中、韓の四か国語に対応した。	

エリア名	施策名	整備に関する事項 (短期：～平成29年度・中期：～平成34年度・長期：～平成44年度・継続：継続的に実施するソフト施策)	No	具体的な施策（短期）	○：達成 △：一部達成 ×：未達成	取組状況（△の箇所については、下段に今後の取組を記載）
松が枝周辺エリア	都市の魅力の強化	・港と都市の夜景づくりを進めるため、稲佐山展望所等の主要な視点場からの視界に入る道路、水際線、歴史的な建物や地域のランドマークとなる施設などについては、照明による夜ならでの賑わいを演出する。 ○市街地の灯りの維持・改善検討（LEDへの転換、現在の灯りの維持）・・・短期 ○市街地の灯りの維持・改善検討（灯りの演出）・・・継続 ○水際線の連続的な灯りの整備・・・長期 ○観光施設やランドマークとなる施設のライトアップの推進・・・継続	26	市街地の灯りの維持・改善検討（LEDへの転換、現在の灯りの維持）	○	・【No.7と同じ】
	回遊性の充実	・賑わいの拠点である中心商業地と、陸の玄関口である長崎駅周辺、海の玄関口である松が枝周辺等との連携強化及び周辺の観光施設へのアクセス向上のため、駐車場と公共交通機関との連携、公共交通機関の運行ルートの見直しなどの検討を進め、有効な制度等を活用しながら交通ネットワークの充実と利便性の向上を図る。 ○観光案内板や誘導サインの整備・充実（松が枝国際観光船埠頭以外）・・・短期 ○観光案内板や誘導サインの整備・充実（松が枝国際観光船埠頭内）・・・長期 ○駐車場の整備・充実（松が枝国際観光埠頭内の駐車場）・・・長期 ○駐車場の整備・運用・・・継続 ○路面電車の石橋電停方面への複線化の検討・・・長期 ○路面電車の松が枝延伸の検討・・・長期 ○公共交通機関の運行ルート見直し検討・・・中期 ○公共交通における誘導案内の充実・・・中期 ○拠点周回バスの運行・・・継続	27	観光案内板や誘導サインの整備・充実（松が枝国際観光船埠頭以外）	○	・「まちなか誘導案内板整備計画」に基づき、案内サイン1基を設置した。また、さるく説明板：169基、石碑説明板：63基設置。説明板等の修繕を実施した。
	安全・安心な歩行者動線の充実・強化	・当エリア内の観光施設へのスムーズな誘導を図るため、快適な歩行者動線の確保に努める。なお、災害時の避難場所への誘導については、観光客にも分かりやすい誘導サインの整備を進める。また、当エリア内のみならず、当エリアと長崎駅周辺、まちなかとの回遊性の向上を図るため、エリア間を結ぶ安全・安心で快適な歩行者動線の整備を進める。さらに、主要な歩行者動線においては、観光客や住民の休憩や語らいの場所となる空間の確保に努めるほか、トイレ等を維持管理するオーナー制導入の検討を進める。 ○松が枝から南山手方面への歩行者動線の検討・整備の推進・・・長期 ○回遊路の環境整備・・・長期 ○長崎駅周辺やまちなかと松が枝周辺エリアをつなぐ動線強化・・・中期 ○電線類地中化事業の推進【再掲】・・・長期 ○観光案内板や誘導サインの整備・充実（松が枝国際観光船埠頭以外）・・・短期 ○観光案内板や誘導サインの整備・充実（松が枝国際観光船埠頭内）・・・長期 ○バリアフリー基本構想に基づくバリアフリー化の推進・・・中期 ○休憩場所等の確保・・・長期 ○トイレなどのおもてなし施設を維持管理するオーナー制導入の検討・・・継続 ○花のあるまちづくり事業の推進【再掲】・・・継続	28	観光案内板や誘導サインの整備・充実（松が枝国際観光船埠頭以外）	○	・【No.27と同じ】
	国際ゲートウェイ機能の再構築	・東アジアクルーズ客船の日本寄港に優位な位置にあるという地理的条件や、これまでの長崎とアジア各国との交流の歴史を活かして、東アジアへの玄関口（ゲートウェイ）としての機能を高めるため、ハード面の整備だけでなく、外国人観光客に対する「おもてなし」の向上を図るなど、ソフト面からの検討も進める。 ○分かりやすい案内表示の推進・・・短期 ○おもてなしセミナーや外国語講座等の定期開催・・・長期 ○留学生等と連携した案内サービスの推進・・・継続 ○インターネット環境の充実促進の検討・・・継続 ○外貨交換窓口の設置・・・継続	29	分かりやすい案内表示の推進	○	・「まちなか誘導案内板整備計画」に基づき、案内サイン1基を設置した。また、道路に埋め込まれた龍馬の道案内板号板の滑り止め加工等を行った。